学校番号	414

令和８年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	保健	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	新高等保健体育　（大修館）						
副教材等	自主教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・個人だけでなく、社会生活における健康・安全についての理解を深める。
・健康に関する興味・関心を深める。
・日常生活における健康課題を身近にとらえ、その解決方法を考える。
・健康や安全についての社会的な取組や個人での対応について知る。
・自分以外の意見に触れ、様々な価値観・健康観が存在することを理解する。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・自然環境や社会制度などが健康と密接に関わっていることを理解できるようになる。
・保健・医療制度、医薬品について学び、理解できるようになる
【思考力、判断力、表現力等】
・生涯にわたり健康に生きるために意思決定・行動選択を理解し、実践できるようになる。
・思春期、結婚生活、中高年期など生涯の各段階の課題や特徴が理解できるようになる。
【学びに向かう力、人間性等】
・世にあふれる情報から健康に関する正しい情報を見極めるために必要な方法やについて理解し実践できるようになる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・理解	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯の各段階における特徴や健康課題を理解している。労働、食品、環境など社会全体の課題解決方法についての知識を深め、個人生活及び社会生活の関わりを踏まえて、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくための基礎的な事項を理解している。	生涯に通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現し、他社に伝える工夫をする。健康になるための意思決定・行動選択を理解し、実践したことなどをワークシートにまとめ、述べることができる。	健康課題を身近にとらえ、健康を保持増進するためには、自らの健康課題と真摯に向き合い、その課題解決に向け行動するために意欲的に学習に取り組もうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	生涯を通じる健康	思春期と健康 1.思春期における体の変化と性機能の成熟 2.思春期における心の変化健康課題	a:性ホルモンの働きにより心身に変化が起こることを理解できるようにする b:思春期における悩みや健康課題を発見し、その対策について考え、適切な方法を選択し、説明できるようにする c:「思春期における健康課題について資料を探したり、見たり読んだりするなどの学習活動に取り組もうとする。	学習状況の観察 学習カード 定期考査の結果	学習状況の観察 ワークシート 定期考査の結果	学習状況の観察 ワークシート
		性意識の変化と性行動の選択 1.性意識の変化と異性の尊重 2.性に関する情報と性行動	a:自分の行動への責任感や、性のあり方の理解と尊重の必要性を理解できるようにする b:性に関する意思決定・行動選択の課題を発見し、その対策について考え、適切な方法を選択し、説明できるようにする c:性意識、性差について調べたり、資料を見たり読んだりするなどの学習活動に取り組もうとする。	学習状況の観察 学習カード 定期考査の結果	学習状況の観察 ワークシート 定期考査の結果	学習状況の観察 ワークシート
		結婚生活と健康 1.結婚・婚姻状況と健康 2.夫婦関係、親子関係と健康	a：夫婦や親子の良好な関係や安定した結婚生活がもたらす家族への健康影響について理解できるようにする。 b: 妊娠や出産、育児を含む結婚生活における健康課題を発見し、その対策について考え適切な方法を選択し説明できる。 c:親子関係と健康について調べたりするなどの学習活動に取り組もうとする。	学習状況の観察 学習カード 定期考査の結果	学習状況の観察 ワークシート 定期考査の結果	学習状況の観察 ワークシート
		妊娠・出産と健康 1.受精・妊娠・出産 2.母子の健康のために	a：母子の健康や安全を保つために、妊娠・出産期に活用できる母子保健サービスについて理解している b: 妊娠や出産の過程で起きる健康課題の対策について考え、適切な方法を選択し説明できる。 c:妊婦に対する配慮について考えたり、地域の母子保健サービス生活行動とがんについて調べたりするなどの学習活動に取り組もうとする。	学習状況の観察 学習カード 定期考査の結果	学習状況の観察 ワークシート 定期考査の結果	学習状況の観察 ワークシート

		家族計画 1.家族計画の意義 2.避妊法の選択と人工妊娠中絶	a：家族計画の意義とその重要性について理解できるようにする。 b: 家族計画を立てる際に起こりうる課題を発見し、その対策について考え適切な方法を選択し説明できるようにする。 c:自分自身の家族計画や人生設計について考えたり調べたりするなどの学習活動に取り組もうとする。	学習状況の観察 学習カード 定期考査の結果	学習状況の観察 ワークシート 定期考査の結果	学習状況の観察 ワークシート
		加齢と健康 1.加齢による心身の変化 2.中高年期を健やかに過ごすために	a:加齢による心身の変化や高齢期の健康課題について理解できる。 b:若者と高齢者が社会において交流し、お互いを理解する具体的な方法を考え説明できる。 c:高齢者の健康づくりに対して、高校生ができることを考える	学習状況の観察 学習カード 定期考査の結果	学習状況の観察 ワークシート 定期考査の結果	学習状況の観察 ワークシート
		高齢社会に対応した取り組み 1.高齢者を取り巻く状況 2.高齢者を支える社会の取り組み	a:高齢社会における健康課題について理解できる b:高齢者の生活を支えるための取り組みについて、住んでいる地域の状況を紹介して課題を発見し、具体的対策を考え説明できる。 c:高齢者の生活を支えるための具体策を考えたり、グループの意見をまとめたりできる。	学習状況の観察 学習カード 定期考査の結果	学習状況の観察 ワークシート 定期考査の結果	学習状況の観察 ワークシート
		働くことと健康 1. 働くこと(労働)の意義と働き方の変化 2. 働く人における健康問題と現状	a:働くことの意義と働き方の多様化について理解できる。 b:働き方が多様化している現代における働く人の健康課題を説明できる。 c:働くことの意義を考えたり、健康問題とその対策についてまとめるなどの学習活動に取り組もうとする。	学習状況の観察 学習カード 定期考査の結果	学習状況の観察 ワークシート 定期考査の結果	学習状況の観察 ワークシート

2学期	現代社会と健康	労働災害の防止 1. 日本における労働災害の推移 2. 労働災害を防止するための仕組み	a:労働による傷害や職業病などの労働災害は作業形態や作業環境の変化に伴い質や量が変化してきたことを理解する。 b:習得した知識をもとに労働災害の防止に向けて個人としての取り組みや組織としての取り組み、さらに社会的対策を整理できる。 c:労働災害を防止するために必要な取り組みについて調べたり意見を述べたりする。	学習状況の観察 学習カード 定期考査の結果	学習状況の観察 ワークシート 定期考査の結果	学習状況の観察 ワークシート
		働く人の健康づくり 1. 職場における健康の保持･増進活動 2. 日常生活における健康の保持･増進活動	a:働く人の健康の保持・増進は、職場の健康管理や安全管理とともに心身両面にわたる総合的、積極的な対策の推進が図られることによって成り立つことを理解している。 b:働く人の健康の保持･増進について、習得した知識をもとに、余暇の意義や生活の質の向上を図ることと関連付けて、課題解決の方法に応用できる。 c:自身の余暇の活用について考えたり、意見交換をする。	学習状況の観察 学習カード 定期考査の結果	学習状況の観察 ワークシート 定期考査の結果	学習状況の観察 ワークシート
		大気汚染と健康 1. 大気汚染による健康への影響 2. 地球規模の大気環境問題	a:人間の生活や産業活動は、大気汚染を引き起こし、健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあるということについて理解できる b:地球規模での大気環境問題についてこれまでの取り組みについて個人と社会での対策を分析したり、諸外国と比較したりして、大気汚染の対策について評価できる。 C 大気環境問題でそれぞれ原因となっているものはなにか、その対策についても調べたり学習に取り組もうとする。	学習状況の観察 学習カード 定期考査の結果	学習状況の観察 ワークシート 定期考査の結果	学習状況の観察 ワークシート

		水質汚濁･土壌汚染と健康 1. 水質汚濁による健康への影響 2. 土壌汚染による健康への影響	A 人間の生活や産業活動は水質汚濁、土壌汚染を引き起こし、健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあることを理解する。 b:水質汚濁や土壌汚染に対するこれまで取り組みについて個人と社会で分析したり、諸外国と比較したりして、汚染対策について評価できる。 c: 水質、土壌汚染問題でそれぞれ原因となっているものはなにか、その対策についても調べたり学習に取り組もうとする。	学習状況の観察 学習カード 定期考査の結果	学習状況の観察 ワークシート 定期考査の結果	学習状況の観察 ワークシート
		健康被害を防ぐための環境対策 1. 環境汚染の防止とその対策 2. 産業廃棄物の問題と新たな環境汚染の問題	a:環境汚染による健康への影響を防ぐために行われている対策について理解できる b:環境汚染の防止とその対策に関するこれまで行われてきた取り組みについて個人と社会での対策を分析したり、評価できる。 c:環境汚染問題の諸外国の取り組みについて調べる。	学習状況の観察 学習カード 定期考査の結果	学習状況の観察 ワークシート 定期考査の結果	学習状況の観察 ワークシート
		環境衛生に関わる活動 1. 安全な飲み水の供給と汚水の処理 2. 生活環境を守るごみ処理	a:安全な水の確保のために必要な上下水道の整備と現状と課題について理解できる。 b:上下水道やごみ処理とその対策に関するこれまで行われてきた取り組みについて個人と社会での対策を分析したり、評価できる。 c:我が国のごみ問題の課題としてあげられることを話し合える。	学習状況の観察 学習カード 定期考査の結果	学習状況の観察 ワークシート 定期考査の結果	学習状況の観察 ワークシート
		食品の安全性と健康 1. 食品の安全性と課題 2. 食品の安全性の確保	a:人々の健康を支えるためには食品の安全性を確保することが重要であり、食品の安全性が損なわれると健康に深刻な被害をもたらすことがあることを理解する。 b:食品の安全性を確保することは健康の保持･増進にとって重要であることについて理解できる。 c:食の安全性を確保するための食品を作る側の役割にはどのようなものがあるか議論できる。	学習状況の観察 学習カード 定期考査の結果	学習状況の観察 ワークシート 定期考査の結果	学習状況の観察 ワークシート

		食品の安全性を確保する取り組み 1. 食品の安全性を確保する行政、生産・製造者の役割 2. 食品の安全性の確保と私たちの役割	a:食品の安全性を確保するための行政や生産・製造者の役割について理解できるようにする。 b:食品表示の内容から健康被害の防止に役立つ内容を抜き出し、保存方法やアレルギー物質などに分類することができる。 c:食品の安全を守るためには行政や生産者・製造者は何が必要なのか議論できる。	学習状況の観察 学習カード 定期考査の結果	学習状況の観察 ワークシート 定期考査の結果	学習状況の観察 ワークシート
		保健制度のその活用 1. 生涯を通じて病気から人々の健康を守る保健行政 2. 健康保持・増進のために活用できる保健サービス	a:人々の健康を支える保健行政の役割について理解できる b:地域の保健機関の活用について、関連した情報を整理し、生活の質の向上に向けた課題解決に応用できる。 c:将来活用できそうな保健サービスについて調べ発表できる。	学習状況の観察 学習カード 定期考査の結果	学習状況の観察 ワークシート 定期考査の結果	学習状況の観察 ワークシート
3学期	現代社会と健康	医療制度とその活用 1. 医療制度と医療保険 2. 医療機関の役割と適切な活用	a: 人々の健康を支えるための医療保険の仕組みについて理解できる b:医療サービス適切な活用の仕方について、関連した情報を整理し、生活の質の向上に向けた課題解決に応用できる。 c:医療機関を利用する際に収集すべき情報についてまとめ発表できる。	学習状況の観察 学習カード 定期考査の結果	学習状況の観察 ワークシート 定期考査の結果	学習状況の観察 ワークシート
		医薬品の制度とその活用 1. 医薬品の種類と承認制度 2. 医薬品の使い方	a：医薬品の分類、販売制度や有効性安全性について理解できる。 b: 医薬品の制度と活用について使用や販売にかけられている規制を理解しながら、課題解決に応用できる c:医薬品を選ぶ際、服用する際に気を付けることを調べまとめる。	学習状況の観察 学習カード 定期考査の結果	学習状況の観察 ワークシート 定期考査の結果	学習状況の観察 ワークシート

		様々な保健活動や対策 1. 地球規模の健康課題を解決する取り組み 2. 様々な機関・組織の活動	a:日本や世界ではさまざまな健康課題があり、ヘルスプロモーションの理念に基づきそれらに対応した保健活動や対策が行われていることを理解できる b:地球規模の健康課題の解決のために国際機関や民間機関などによって行われている様々な対策について理解し、この活動を充実させるために自分ができることを考え、情報を収集・分析する c:国際機関や民間機関の保健活動が必要な理由を考えまとめる。	学習状況の観察 学習カード 定期考査の結果	学習状況の観察 ワークシート 定期考査の結果	学習状況の観察 ワークシート
		誰もが健康に過ごせる社会に向けた環境づくり 1. すべての政策や取り組みに「健康」の視点を 2. 多様な人や組織が参加して進める環境づくり	a:誰もが健康に過ごせる社会に向けた環境づくりにはヘルスプロモーションの考えかたにもとづき国や社会におけるすべての政策に健康の視点を組み込み多様な人や組織が参加して進めることが大切であると理解できる。 b:ヘルスプロモーションの考え方に基づき整備された環境を適切に利用していくための方法や仕組みを考える。 c:諸外国のヘルスプロモーションの考え方を調べ、自分たちの応用する方法を調べる。	学習状況の観察 学習カード 定期考査の結果	学習状況の観察 ワークシート 定期考査の結果	学習状況の観察 ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度